

ドリル式 エスペラント入門

その2

《B》

第5版

2016-05-30

(c) 一般財団法人 日本エスペラント協会
Japana Esperanto-Instituto

(第1版 2013-08-31)

課	文法事項	課	文法事項
B01	造語法	B25	分詞 2
B02	大きな数・分数・小数	B26	分詞 3
B03	数量の前置詞 da 1	B27	分詞 4
B04	数量の前置詞 da 2	B28	複合時制 1
B05	序数詞・数副詞	B29	複合時制 2
B06	日付・曜日	B30	受身
B07	時刻	B31	再帰代名詞 三人称
B08	序数の疑問詞 Kioma	B32	接尾辞 -iĝ-
B09	疑問詞 Kiam	B33	接尾辞 -ig-
B10	従属接続詞 ke	B34	線動詞と点動詞 2
B11	前置詞 3	B35	無主語文
B12	前置詞 4	B36	話法
B13	接頭辞	B37	間接疑問
B14	接尾辞 1	B38	関係代名詞 kiu 1
B15	接尾辞 2	B39	関係代名詞 kiu 2
B16	比較級 (形容詞、副詞)	B40	関係代名詞 kiu 3
B17	最上級 1	B41	関係副詞 kie 1
B18	最上級 2	B42	関係副詞 kie 2
B19	従属接続詞 kiam	B43	従属接続詞 ke の種々の用法
B20	従属接続詞 ĉar, se	B44	一人称の命令形
B21	移動の対格	B45	仮定法 1
B22	対格の使い方 1	B46	仮定法 2
B23	対格の使い方 2	付録	主な接頭辞一覧
B24	分詞 1	付録	主な接尾辞一覧 (1) (2)

教材をお使いいただくに際して

1. 対象

本教材は、日本語を母語とする方々がエスペラント文法の基礎を学ぶための自習教材として作成されました。その1およびその2は、発音から始めて入門から初級に至る文法事項をあつかっています。

2. 構成

その1とその2のそれぞれの表紙に課一覧を載せてあります。一課一頁で一つの文法事項を扱います。それに応じた例文をそれぞれの課の標題にかかっています。各ページの左半分に記された説明を読んで内容を理解し、右半分に記された練習問題に解答してください。初出の単語および練習問題に関連する単語が頁の下段に載せてあります。目を通してください。

なお、その1の最初の発音の課では、数課をまとめて複数の練習問題を設けています。

エスペラントで書かれている文および単語は、必ず、声に出して読んでください。音読することで、眼と口と耳が使われ一層エスペラントになれることができます。

3. 使い方

次のような使われ方を想定しています。

- (1) 学習者の復習用
- (2) 講習会での補助教材
- (3) 案内人付きの自習用

4. 案内人付きの自習用

この学習形態では、学習者一人の独習ではなく、学習のペースメーカー、伴走者、案内人の役割を果たす先輩がいて、学習の進行を支援します。

- (1) 学習者は案内人から数課分の教材を受けとって自習し、練習問題の解答を案内人に返します。
- (2) 全問正解の場合、次の数課に進みます。案内人の役割は、練習問題を採点すること、次の課に進んでよいかを判断すること、誤答の場合に再学習を促すことです。
- (3) 全問正解でない場合は、学習者は、再度、該当の課の左の説明を読み、間違ったところを自ら発見し理解するよう努め、再度、問題を解きます。

案内人の役割は、自ら教えるのではなく、学習者による自習を支援する役回りです。教材の説明文は、自習で理解できるよう短いことばで分りやすく心がけて作成しました。

5. 解答集

本資料と別に解答集を用意します。案内人の方、復習用に使われる方、あるいは講習会講師の方には便利かと思います。

使用してのご感想、ご指摘がありましたら、下記委員会までお知らせいただければ幸いです。

(一財) 日本エスペラント協会 新教材企画委員会
電子メール : esperanto@jei.or.jp

lernejo 学校 (学ぶ場所)

★ エスペラントでは、関連する単語を作る方法 (造語法) が用意されています。それにより、少数の語根 (語尾を除いた部分) を、何倍もの単語に展開して用いることができます。以下に、3 種の方法を示します。

- (1) 語尾の付け替え ; 名詞・動詞・形容詞・副詞を示す語尾の付け替えにより、単語の働きが変わります。

klara 明瞭な (形容詞) ⇒ **klare** 明瞭に (副詞)

kanti 歌う (動詞) ⇒ **kanto** 歌 (名詞)

また、語尾の無い単語からも展開できます。

ne (否定) ⇒ **nei** 否定する (動詞)

nea 否定の (形容詞)

- (2) 接頭辞・接尾辞の利用 : 接頭辞・接尾辞という要素を使って語根から派生する単語を作る方法です。

lerni (学ぶ) + **ej** (場所) + **o** (名詞語尾) ⇒ 学校 **lernejo**

juna (若い) + **ul** (性質の人) + **o** (名詞語尾)

⇒ 若者 **junulo**

- (3) 合成 : 2 つ以上の単語の語根をつなぐ方法です。

fero (鉄) + **vojo** (道) ⇒ 鉄道 **fervojo** (fer+voj+o)

maro (海) + **bordo** (岸)

⇒ 海岸 **marbordo** (mar+bord+o)

練習問題

1. **klar-** に適切な語尾を付けて、空欄に記入しましょう。

(1) のり子の声は明瞭です。 (形容詞)

Voĉo de Noriko estas () .

(2) のり子は明瞭に発音します。 (副詞)

Noriko elparolas () .

2. **kant-** に適切な語尾を付けて、空欄に記入しましょう。

(1) のり子は美しく歌います。 (動詞)

Noriko () **bele.**

(2) のり子は日本の歌が好きです。 (名詞)

Noriko amas japanajn () .

3. 接尾辞を使って、該当する単語を空欄に記入しましょう。

(1) 働く **labori** ⇒ 仕事場、職場 ()

(2) 年老いた **maljuna** ⇒ 老人 ()

4. 合成で作られる語を空欄に記入しましょう。

自由時間 / 休暇 ()

[ヒント] 自由な **libera** 時間 **tempo**

klara 明瞭な **manĝi** 食べる **lerni** 学ぶ **juna** 若い **fero** 鉄
vojo 道 **maro** 海 **bordo** 岸 **voĉo** 声 **elparoli** 発音する
labori 働く **maljuna** 年老いた **libera** 自由な **tempo** 時間

Leciono B02

大きな数・分数・小数

練習問題

128 milionoj

1 億 2800 万

A の 7 課、23 課に続き、数の表し方を説明します。

★ 百万以上の数は、百万、十億、一兆などを表す名詞 **miliono** 百万、**miliardo** 十億、**duiliono** 一兆等と数詞を使って表します。

unu miliono 百万、**du milionoj** 2 百万

La nombro de loĝantoj en Japanio estas cent dudek ok milionoj.

日本に住んでいる人の数は 1 億 2800 万です。

La nombro de loĝantoj en la mondo fariĝis sep miliardoj en la jaro 2011.

世界に住んでいる人の数は 2011 年に 70 億になりました。

★ 分数は、数詞に接尾辞 **-on** と品詞語尾 **-o** を付けて名詞として表します。

duono 2 分の 1 (**du + on + o**)

kvarono 4 分の 1 (**kvar + on + o**)

tri kvaronoj 4 分の 3

★ 小数は、小数点以下を数字の羅列で表します。小数点は日本、米国では **."** (**punkto**) ですが、ヨーロッパでは **,"** (**komo**) です。

エスペラントでは **,"** (**komo**) を推奨します。

12,34 dek du komo tri kvar



名詞の複数語尾-j を忘れずに

1. 空欄に適切な単語を記入しましょう。

(1) **Kiom estas la nombro de loĝantoj en Tokio?**

東京に住んでいる人の数 (人口) はいくらですか。

→ **Ĝi estas** () **milionoj.**

1300 万です。 (13,000,000)

(2) **Kiom estas la nombro de loĝantoj en la urbo Kioto?**

京都市に住んでいる人の数 (人口) はいくらですか。

→ **Ĝi estas** () **kaj kvarcent sepdek mil.**

147 万です。百万 (1,000,000) + 47 万 (470,000)

2. 次の分数を書きましょう。

2 分の 1 ()

3 分の 1 ()

4 分の 1 ()

3 分の 2 () ()

3. 次の小数を数字にしましょう。

tri komo unu kvar unu kvin naŭ du

.....
miliono 百万 **nombro** 数 **loĝanto** 住民 **mondo** 世界

duono 半分

taso da kafo カップ一杯のコーヒー

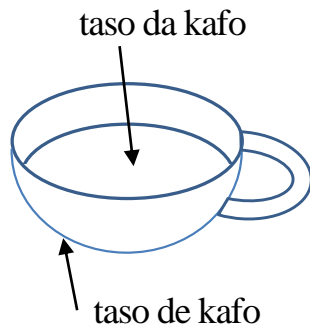
★ 前置詞 **da** は数量を表すときに用います。

先ず、**da** の使用例から。

taso da kafo	カップ一杯のコーヒー
botelo da vino	ボトル一本のワイン
glaso da biero	グラス一杯のビール
du milionoj da loĝantoj	二百万人の住民

ここで **A da B** は、**A** で量った分量の **B** を表します。

コーヒーがカップに入って1杯分ある
 ワインがびんに入って1本分ある
 ビールがグラスに入って1杯分ある
 2百万の数量の住民



★ これに対し、**de** を使う場合は、

taso de kafo	コーヒーカップ
botelo de vino	ワインボトル

と、意味が異なり、**de** でカップとびんの説明をしています。

空欄に適切な単語を記入しましょう。

(1) Du skatoloj () lakto troviĝas en la fridujo.
 パック入りの牛乳が2パック、冷蔵庫にあります。

Sur la tablo estas () glasoj () suko.
 テーブルの上に、グラスに入ったジュースが4つあります。

(2) Noriko aĉetis tri kilogramojn () rizo.
 のり子は3キログラムのお米を買いました。

Erika aĉetis () botelojn () vino.
 エリカは ワインを2本買いました。

(3) Bela bildo estas sur la botelo () vino.
 ワインのびんの表面にきれいな絵があります。

Erika kolektas tasojn () kafo.
 エリカは、コーヒーカップを集めています。

taso カップ botelo びん glaso グラス kafo コーヒー
 vino ワイン biero ビール skatolo 箱 fridujo 冷蔵庫

lakto 牛乳 suko ジュース rizo 米 bildo 絵
 troviĝi (～に) ある kolekti 集める aĉeti 買う

multe da floroj たくさんの花

★ 前置詞 **da** は数量を表す副詞とも一緒に使われます。

multe da floroj	たくさんの花
kelke da homoj	何人かの人
iom da salo	少しの塩
sufiĉe da tempo	十分な時間



Masato donacis multe da floroj al Noriko.

まさとはのり子にたくさんの花を贈りました。

multaj は一つ一つ、multe da はまとまりが意識されます。前置詞 da に続く語は主格のままです。(florojn とはしません)

★ 数量の疑問詞 **kiom** と組み合わせて数をたずねます。

Kiom da anoj estas en la familio Tanaka?

田中さんの家族には何人のメンバーがいますか

Kiom da pomoj aĉetis Noriko?

のり子はリンゴをいくつ買いましたか。

homo 人 iom 少し salo 塩 sufiĉe 十分に tempo 時間 floro 花
 familio 家族 familiano 家族のひとりひとり
 ano メンバー donaci 贈る aĉeti 買う klasĉambro 教室
 ŝanĝi 変える gusto 味 ovo 卵 fridujo 冷蔵庫
 kuirajo 料理 resti そのままある lasta この前の、最後の

1. 空欄に適切な単語を記入しましょう。

- (1) Kelke () lernantoj estas en la klasĉambro.
何人かの生徒が教室にいます。
- (2) Iom () salo ŝanĝas guston de kuirajo.
少量の塩が料理の味を変えます。

2. 空欄を埋めて、疑問文を完成させましょう。

- (1) Japanio havas cent dudek ok milionojn da loĝantoj.
日本は1億2800万人の住民を持っています。
→ () () loĝantoj havas Japanio?
何人の住民?
- (2) Ses ovoj restas en la fridujo.
冷蔵庫に卵が6つあります。
→ () () ovoj restas en la fridujo?
冷蔵庫に卵がいくつ?
- (3) Norio legis kvar librojn en la lasta monato.
のりおは先月、本を4冊、読みました。
→ () () libroj legis Norio en la lasta monato?
何冊、読んだ?

Leciono B05

序数詞・数副詞

la unua kongreso de Esperanto 第1回エスペラント大会

★ 数詞に形容詞語尾 **-a** を付けて、順序を表す序数詞が作られます。
限定を伴う単語である冠詞 **la** や所有形容詞が伴います。

1	unu	→	unua	1 番目の、最初の
2	du	→	dua	2 番目の
3	tri	→	tria	3 番目の

la unua kongreso	第1回目の大会
mia dua filino	私の2番目の娘
la tria etaĝo	3番目の階(3階)

La unua kongreso de Esperanto okazis en la jaro 1905.
第1回エスペラント大会は1905年に開催されました。

★ 数詞に副詞語尾 **-e** を付け、順序を表す数副詞が作られます。

1	unu	→	unue	1 番目に、最初に
2	du	→	due	2 番目に

Unue ni enmetas monerojn	最初に硬貨を入れ、
kaj due premas la butonon.	2番目にボタンを押します。

練習問題

空欄に適切な単語を記入しましょう。

- (1) La () ĉefministro de Japanio estas Itō Hirobumi.
日本の最初の首相は伊藤博文です。
- (2) Mia loĝejo estas () () domo de la krucovojo.
私の住居は、交差点から2番目の家です。
- (3) Arta muzeo estas en la () etaĝo de la domo.
美術館が、その建物の3階にあります。
- (4) En kioma etaĝo estas la librovendejo?
本屋は、何階(何番目の階)にありますか。
Ĝi estas en () () etaĝo.
それは、4階にあります。
- (5) Konkursantoj () naĝas, ()
biciklas kaj trie kuras.
競技者は、最初に泳ぎ、2番目に自転車をこぎ、
そして3番目に走ります。

loĝejo 住居 domo 家、建物 krucovojo 交差点
kioma 何番目の konkursanto 競技者 naĝi 泳ぐ
biciklo 自転車 bicikli 自転車で行く kuri 走る

kongreso 大会 filino 娘 etaĝo 階 okazi 起こる
enmeti 入れる monero 硬貨 premi 押さえる butono ボタン

Leciono B06

日付・曜日

Kiu tago de la semajno estas hodiaŭ? – Estas mardo.

きょうは何曜日ですか。 火曜日です。

★ 曜日を覚えましょう。

日曜 **dimanĉo** 月曜 **lundo** 火曜 **mardo**
 水曜 **merkredo** 木曜 **ĵaŭdo** 金曜 **vendredo**
 土曜 **sabato**

Estas mardo. 火曜日です。

*主語なしの文(無主語文)については後の課で学びます。

★ 日付を表すには、序数詞を用います。

Mi naskiĝis en la dudek-unua (tago) de junio.

私は6月21日生まれです。

*日付を表していることが明らかな場合は、
例文のように **tago** は省略できます。

二桁以上の数の序数詞は、各位の数字をーでつないで一語とし形容詞語尾-aを付けます。
例 dudek-unua

★ 月の名前を覚えましょう。

1月	januaro	7月	julio
2月	februaro	8月	aŭgusto
3月	marto	9月	septembro
4月	aprilo	10月	oktobro
5月	majo	11月	novembro
6月	junio	12月	decembro

(エスペラントでは曜日、月名は普通、小文字で書きます。)

★ 曜日と月名の語尾を-e に変えて副詞にすると、何曜日に、何月にの意味になります。

sabate 土曜日に julie 7月に

練習問題 次の()にあてはまる単語を書きましょう。

(1) きのは日曜日でした。

Hieraŭ estis ().

(2) 木曜日の次には金曜日がきます。

Venas () post ().

(3) 明日は何曜日ですか。

() () de la semajno estos morgaŭ?

(4) 日本では3月3日はひな祭りです。

En Japanio la () de () estas “pupfesto”.

(5) 彼はその手紙を2月7日に書きました。

Li skribis la leteron en () () de ().

(6) その会合は来週の月曜日に始まります。

Tiu kunsido komenciĝos en la venonta ().

(7) 私たちは毎週木曜日に集まります。

Ni kunsidas en ĉiu ().

(8) 日本では新学年は4月に始まり、3月に終わります。

En Japanio nova lernojaro komenciĝas () kaj finiĝas ().

naskiĝi 生まれる hieraŭ きのは festo お祭り kunsido 会合
 ĉiu 各々の、毎～ lernojaro 学年 komenciĝi 始まる
 venonta 来たる、次の finiĝi 終わる pupo 人形

Leciono B07

時刻

Estas la tria (horo) kaj duono.
3時半です。

- ★ 時刻を表す場合、何時（短針）には序数詞を用います。
分には普通の数字を使います。前課と同じく無主語文です。

Estas la sesa (horo) kaj dudek (minutoj) nun.
今6時20分です。

*時刻を表していることが明らかな場合には、
例文のように、horo と minuto を省略できます。

- ★ 何時に、を表すには、前置詞 **je** を使います。
- | | |
|----------------------|--------|
| je la unua kaj dek | 1時10分に |
| je la tria frumatene | 早朝3時に |

- ★ 午前(antaŭtagmeze)、午後(posttagmeze)の別は、
時刻の後につけます。

Li vekigis je la kvara posttagmeze hodiaŭ.
彼はきょうは午後4時に起きました。

序数詞には、
冠詞 **la** が付き
ものです。
時刻に **la** を忘
れずに。



- ★ 15分、30分、45分を表すことばに、次のように分数の1/4、1/2、
3/4がそれぞれ用いられます。
- | | | | |
|-----|--------------|--------------------------|--------|
| 15分 | kvarono | la deka kaj kvarono | 10時15分 |
| 30分 | duono | la dua kaj duono | 2時半 |
| 45分 | tri kvaronoj | la tria kaj tri kvaronoj | 3時45分 |

練習問題 次の()にあてはまる単語を書きましょう。

- 私は昨夜11時に寝ました。
Mi enlitiĝis je () () hieraŭ vespere.
- 私の母は毎朝5時に起きます。
Mia patrino vekigis () la () ĉiumatene.
- 今、午前9時15分(分数で)です。
Nun estas () () kaj () antaŭtagmeze.
- 大きな地震が午後8時前に起きました。
Granda tertremo okazis antaŭ () () posttagmeze.
- その映画は夕方7時に終わりました。
La filmo finiĝis () () () vespere.
- 事務所の仕事は8時半に始まります。
Laboro en la oficejo komenciĝas je la oka () () .

.....

horo 時 (1時間) duono 1/2, 半分 minuto 分 nun 今
frumateno 早朝 antaŭtagmeze 午前 posttagmeze 午後
vekigi 起きる kvarono 1/4 enlitiĝi 寝る ĉiumatene 毎朝
tertremo 地震 antaŭ ~の前に (時間、場所)
okazi (何か) 起きる finiĝi 終わる komenciĝi 始まる

Leciono B08

序数の疑問詞 **Kioma**

Kioma horo nun estas? 今、何時ですか。

★ 数詞に形容詞語尾 **-a** をつけて、序数詞を作ったように、数量の疑問詞 **kiom** に形容詞語尾 **-a** をつけて、順番を尋ねる疑問詞 **kioma** ができます。

(1) **Kioma horo nun estas?**

今、何時（何番目の時刻）ですか。

Nun estas la tria horo. 今、3 時です。

(2) **Je kioma horo vi ellitiĝas?**

あなたは何時（何番目の時刻）に起床しますか。

Mi ellitiĝas je la sepa horo matene.

朝 7 時に起床します。

(3) **Kioma tago (de la monato) estas hodiaŭ?**

今日は何日（月の何番目の日）ですか。

Hodiaŭ estas la 15a tago. 今日 15 日です。

(4) **En kioma etaĝo troviĝas la restoracio?**

何階（何番目の階）にそのレストランはありますか。

Ĝi troviĝas en la sesa etaĝo. 6 階にあります。

★ **nun** や **hodiaŭ** は名詞ではなく時間をあらわす副詞です。(1)(3) は無主語文になっています。B33 課で改めて説明します。

練習問題

次の（ ）にあてはまる単語を書きましょう。

(1) あなたは何時に就寝しますか。

Je () horo vi enlitiĝas?

(2) バスは何時に出発しましたか。

Je ()() ekiris la aŭtobuso?

(3) 明日は何日（何番目の日）ですか。

() tago () morgaŭ?

(4) あなたはその建物の何階に住んでいますか。

En () etaĝo vi loĝas en la domo?

下の意味に相当するエスペラント文を書きましょう。

(1) 今、何時ですか。

(2) あなたの仕事は何時に終わりますか（未来）。

ellitiĝi ベッドから出る、起床する **troviĝi** 見出される、ある
etaĝo 階 **restoracio** レストラン

enlitiĝi 床に入る、寝る **ekiri** 出発する **laboro** 仕事
finiĝi 終わる

Leciono B09

疑問詞 Kiam

練習問題 次の () にあてはまる単語を書きましょう。

Kiam vi komencis lerni Esperanton?

あなたはいつエスペラントを学び始めたのですか。

- ★ 疑問詞 **Kiam** は、広く時を尋ねる場合に用います。
答え方は、年月日、期間、時刻、時間など問いに応じ様々です。

(1) **Kiam vi komencis lerni Esperanton?**

あなたはいつエスペラントを学び始めたのですか。

Mi komencis lerni Esperanton en (la jaro) 2004.

私は 2004 年にエスペラントを学び始めました。

(2) **Kiam vi enlitiĝis hieraŭ vespere?**

あなたは昨夜いつ寝ましたか。

Mi enlitiĝis je la dek-unua kaj duono.

私は 11 時半に寝ました。

(3) **Kiam vi aĉetis tiun libron?**

あなたはいつその本を買ったのですか。

Mi aĉetis ĝin antaŭ unu semajno.

私はそれを 1 週間前に買いました。

- ★ 今の時刻を尋ねるとき、下のどちらも使えます。
Kiam nun estas? あるいは **Kioma horo nun estas?**
Estas la kvara (horo) kaj dudek (minutoj). 4 時 20 分です。

- ★ 具体的に何月に、何曜日にと尋ねる場合は、**kiam** ではなく
En kiu monato や **En kiu tago** と聞くこともあります。

En kiu monato finiĝas lernejo en Japanio?

日本では何月に学校が終わりますか。

(1) あなたはいつ彼女に会いますか。

() **vi vidos ŝin?**

(2) いつどこであなたはそのすてきなバッグを買ったのですか。

() **kaj () vi aĉetis tiun belan sakon?**

(3) コズマさんは、いつハンガリーに帰る (立ち去る) ののですか。

() **s-ro Kozma foriros al Hungario?**

(4) あなたはいつ日本語を学び始めたのですか。

() **vi komencis () la japanan lingvon?**

(5) あなたはいつ、そのご婦人に出会ったのですか。

() **vi renkontiĝis kun la sinjorino?**

(6) 大会は何月に行われますか。

En () () okazos la kongreso?

.....
sako バッグ aĉeti 買う komenci 始める lerni 学ぶ
foriri 立ち去る、帰る renkontiĝi 出会う okazi 催される

Leciono B10

従属接続詞 ke

Mi opinias, ke la filmo estas tre interesa.

その映画はとても面白いと思います。

★ 従属接続詞の ke は、～ということを、という意味で、主文（節）と従属文（節）をつなぎます。

(1) **Mi opinias.** (主文) 私は～という意見です。

La filmo estas tre interesa. (従属文)

その映画はとても面白いです。

→ **Mi opinias, ke la filmo estas tre interesa.**

その映画はとても面白いと思います。

(2) **Masato diris.** (主文) まさとはいいました。

Li vojaĝos al Vjetnamio en la somera libertempo. (従属文)

彼（まさと）は夏の休暇にベトナムへ旅行します。

→ **Masato diris, ke li vojaĝos al Vjetnamio en la somera libertempo.**

まさとは夏の休暇にベトナムへ旅行すると言いました。

★ 主文の時制（上の文では過去形の-is）と 従属文の時制（未来形の-os）は、ke で一つの文章につないでも変わりません。

練習問題 次の文章を ke でつなぎ、日本語に訳しましょう。

(1) **Anoncisto diras.**

Ĉi tiu somero estos varmega.

(日本語訳)

(2) **Multaj homoj opinias.**

Amikeco inter popoloj estas tre grava.

(日本語訳)

(3) **Mi pensas.**

La kongreso iris glate.

(日本語訳)

.....
 anoncisto アナウンサー filmo 映画 Vjetnamio ベトナム
 libertempo 休暇、自由時間 grava 重要な、大切な
 glate 順調に amikeco 友情 popolo 民族、大衆

Por via sano! あなたの健康のために!

★ 乾杯! という意味で **Por via sano!** とも言います。
 ここで、**por** は、目的をあらわす前置詞です。
 本課では **por**、**pro**、**pri**、**per** の4つの前置詞を扱います。

Sufiĉa dormado estas necesa **por** sano. (por 目的・対価)
 十分な睡眠が健康のために必要です。

Koran dankon **por** via letero. (por 目的・対価)

Koran dankon **pro** via letero. (pro 原因・理由)
 お手紙ありがとうございます。

Mi vizitis superbazon **por** aĉeti ĉiutagajn aĵojn.

日用品を買うためにスーパー
 マーケットへ行きました。

por + 不定形-i の
 形もあります。



Miho forestis de la klaso

pro malvarmumo. (pro 原因・理由)
 みほは風邪でクラスを欠席しました。

Erika interesiĝas **pri** la historio de Esperanto.

(pri に関して)
 エリカはエスペラントの歴史に関心があります。

Satoru iras al la oficejo **per** aŭtobuso. (per 道具・手段)
 さとるは事務所へバスで行きます。

練習問題

1. 前置詞 + **kio** で始まる疑問文で 前置詞が導く語を尋ねます。

空欄に適切な単語を記入して、文を完成させましょう。

- (1) Por kio **sufiĉa** dormado estas necesa? [何のために]
 Ĝi estas necesa () sano.
- (2) Por kio vi vizitis superbazon? [何が目的で]
 Mi vizitis ĝin () () ĉiutagajn aĵojn.
- (3) Pro kio Miho forestis de la klaso? [何が原因で]
 Ŝi forestis de la klaso () malvarmumo.
- (4) Pri kio Erika interesiĝas? [何について]
 Ŝi interesiĝas () la historio de Esperanto.
- (5) Per kio Satoru iras al la oficejo? [何の手段で]
 Li iras al la oficejo () aŭtobuso.

2. 空欄に **por**、**pro**、**pri**、**per** のいずれかの単語を記入しましょう。

- (1) Li interesiĝas () socia bonfarto.
 彼は社会福祉に関心がある。
- (2) Mi iras al la stacidomo () biciklo.
 私は自転車で駅に行きます。
- (3) Koran dankon () via donaco.
 贈り物をありがとうございます。

.....
 ĉiutaga 毎日の foresti 欠席する viziti 訪れる necesa 必要な
 malvarmumo 風邪 superbazaro スーパーマーケット
 interesiĝi pri に関心を持つ historio 歴史 oficejo 事務所
 donaco 贈り物 bonfarto 厚生、福祉

Laŭ via plaĉo あなたの好みどおりに

★ 本課では kun, sen, laŭ, dum の4つの前置詞を扱います。

Masato iris al parko kun Miho. (kun ~とともに)

まさとはみほと一緒に公園に行きました。

Masato manĝis panon kun butero.

まさとはバター付きパンを食べました。

Noriko trinkas teon sen sukero. (sen ~無しに)

のり子は砂糖なしで紅茶を飲みます。

Satoru portas someran veston sen kravato.

さとるはネクタイなしの夏服を着ています。

La pluvo daŭris dum tri horoj. (dum ~の間、~の間に)

雨は3時間続きました。

Satoru vojaĝis dum la someraj ferioj.

さとるは夏休みの間に旅行しました。

Vi povas manĝi kukojn laŭ via plaĉo. (laŭ ~に従って)

あなたのお好きなようにお菓子を食べてよいです。

Laŭ la novaĵo okazis fervoja akcidento.

ニュースによると鉄道事故が起こった。

空欄に kun, sen, laŭ, dum から適切な単語を記入しましょう。

(1) Kun kiu Masato promenis en parko?

Li promenis () Miho. [みほと一緒に]

(2) Ĉu Satoru trinkas kafon kun lakto?

Ne, li trinkas kafon () lakto. [ミルクなしで]

(3) Kiel longe la pluvo daŭris ?

La pluvo daŭris () du tagoj. [2日間]

(4) Kiel ni pasigu la ferion?

Ni pasigu ĝin () via plaĉo. [好みにしたがって]

(5) Ĉu Esperanto estas utila?

Jes, ĝi estas utila () mia sperto. [経験から]

(6) Kion vi vidis () via vojaĝo? [旅行の間に]

Mi vidis la templon Kinkakuzi.

.....
 pano パン butero バター teo 紅茶 sukero 砂糖 somero 夏
 vesto 服 kravato ネクタイ pluvo 雨 ferio 休日
 novaĵo ニュース fervojo 鉄道 akcidento 事故 daŭri 続く
 porti 着ている、運ぶ vojaĝi 旅行する promeni 散歩する
 gustumi 味わう lakto ミルク okazi 生じる sperto 経験
 kuirajo 料理 utila 有用な templo 寺 plaĉo 気に入ること

Leciono B13

接頭辞

Mia frato estas alta. Mia fratino estas malalta.

弟は背が高い。 妹は背が低い。

言葉の習得における壁の一つが単語の習得です。
 エスペラントは、接頭辞または接尾辞を付けることで、語根に関連した単語を規則的に作ることができ、簡単に語彙を増やすことができます。



★ エスペラントの接頭辞のうち、代表的なものを覚えましょう。

①	mal-	正反対	bona 良い ⇔ mal+bona 悪い alta 背が高い ⇔ mal+alta 背が低い facila 簡単な ⇔ mal+facila 難しい dekstra 右の ⇔ mal+dekstra 左の
②	re-	再び～する	vidi 見る、会う → re+vidi 再会する veni 来る → re+veni 戻る、帰ってくる
③	ek-	動作の開始	plori 泣く → ek+plori 泣き出す lerni 学ぶ → ek+lerni 学び始める
④	ge-	両性を示す	ge+amikoj 男女の友人たち ge+sinjoroj 夫妻、紳士淑女

※ 接頭辞がわかりやすいように + を入れています。実際に書くときには、malbona のように一語として書きます。

練習問題 次の () にあてはまる単語を書きましょう。

- 父は背が高いですが、母は背が低いです。
Mia patro estas (), sed mia patrino estas ().
- エスペラントは比較的簡単ですが、ドイツ語は難しいです。
Esperanto estas relative (), sed la germana estas ().
- その銀行は右側にありますか? いいえ、左側(副詞-e)です。
Ĉu la banko situas dekstre? Ne, ĝi situas ().
- 久しぶりに再会できてうれしいです。(動詞の不定形)
Mi ĝojas () vin post longa tempo.
- 一時間後、家に戻ります。(未来形)
Ni () al la hejmo post unu horo.
- 突然、彼女は泣き出した。
Subite ŝi ().
- 私は数か月前にエスペラントを学び始めました。
Mi komencis lerni Esperanton antaŭ kelkaj monatoj.
= Mi () Esperanton antaŭ kelkaj monatoj.
- 昨日、私は友人たち(男女)と夕食を食べました。
Hieraŭ mi vespermanĝis kun miaj ().
- 紳士淑女のみなさん、私たちのエスペラント大会へようこそ!
Karaj (), bonvenon al nia kongreso de Esperanto!

relative 相対的に、比較的 la germana (lingvo) ドイツ語
 situi 位置する ĝoji 喜ぶ, うれしく思う subite 突然に、急に
 kara 親愛な、いとしい Bonvenon! ようこそ!

Leciono B14

接尾辞 1

Multaj junuloj estis en la kongresejo.
大会会場にたくさんの若者がいました。

- ★ 接尾辞にはたくさんの種類があります。この課ではその中からよく使われるものを、学習します。
語根+接尾辞の組み合わせを覚えましょう。

①	-ul-	～の性質をもった人	jun+ulo 若者 nov+ulo 新人 riĉ+ulo 金持ち antaŭ+ulo 先輩
②	-in-	女性形	frato 兄・弟 ⇔ frat+ino 姉・妹 knabo 少年 ⇔ knab+ino 少女
③	-ej-	場所を表わす名詞	lern+ejo 学校、loĝ+ejo 住居、 kuir+ejo 台所、キッチン manĝ+ejo 食堂
④	-aĵ-	性質・関係を示す事物	nov+aĵo ニュース vest+aĵo 衣類 manĝ+aĵo 食べ物 trink+aĵo 飲み物
⑤	-an-	集団の構成員	famili+ano 家族の一員 kongres+ano 大会参加者 list+ano リスト登録者

- ※ 接尾辞がわかりやすいように + を入れています。
実際に書くときには、junulo のように一語として書きます。



juna(若い)から jun+ulo (若者)の言葉ができ、反意語の maljuna (年とった、年老いた) から maljun+ulo (年配の人、高齢者) の言葉ができます。

練習問題 次の () にあてはまる単語を書きましょう。

- 高級ホテルにはたくさんの金持ちがいました。(注: 複数形)
Multaj () estis en la luksa hotelo.
- 私の姉は祖母に似ている。
Mia () similas al mia avino.
- 今なお、住居が不足しています。(注: 複数形)
Ankoraŭ mankas ().
- キッチンには食べるものが何もありません。
Estas nenio por manĝi en la ().
- 食堂にいろいろな食べ物と飲み物があります。
En la manĝejo estas diversaj () kaj ().
- 大会参加者(複数)はその講演を聴いた。
La () aŭskultis la prelegon.
- 私は四人家族です。
Mi havas kvar ().

.....
luksa デラックスな、高級な hotelo ホテル simili al ~ ~に似ている ankoraŭ まだ manki 不足している
nenio 何も~ない diversa いろいろな、さまざまな aŭskulti 聴く prelego 講演

接頭辞に品詞語尾 (-o / -a / -e 等) を付けて、独立した単語として使うこともできます。

例) ano 一員、メンバー; aĵo 物; ejo 場所
Ŝia filo estas ano de loka futbalteamo.
彼女の息子は地元のサッカーチームの一員です。



Leciono B15

接尾辞 2

練習問題 次の () にあてはまる単語を書きましょう。

Mia onklo estis kapabla vendisto.
私の叔父は有能なセールスマンでした。

★ 続いて、次の接尾辞も覚えましょう。

①	-ist-	職業人、専門家	pentr+isto 画家、vend+isto 販売員 verk+isto 作家、labor+isto 労働者
②	-ec-	性質、～さ、～性	bel+eco 美しさ jun+eco 若さ hom+eco 人間性、amik+eco 友情
③	-eg-	形が大きい、程度が高い	river+ego 大河 grand+ega とても大きい bon+ege とても上手に
④	-et-	形が小さい、程度が低い	infan+eto 乳児、赤ん坊 malsan+eta 健康がすぐれない rid+eti 微笑む
⑤	-ebl-	“～可能な” という形容詞 (-a)、また副詞 (-e)になる	manĝ+ebla 食用可の vid+ebla 見ることができる kompren+ebla 理解可能な kompren+eble もちろん ebla 可能な eble ひょっとしたら、もしかしたら…ありうる

⑤の“eble”のように品詞語尾 (-e 等) を接尾辞に付けて、独立した単語として使うことができます。Eble, ŝi jam estas en Tokio. (ひょっとしたら、彼女はもう東京にいるのかもしれない。)



⑤の“-ebl-”は“ebli” (～が可能である、ありうる) という動詞にもなります。

- (1) 私のいとこ (女) は新人作家です。
Mia kuzino estas nova () .
- (2) 彼女の父親は有名な画家です。
Ŝia patro estas fama () .
- (3) 私はその景色の美しさにとっても感銘を受けた。
La () de la pejzaĝo ege impresis min.
- (4) 彼らの友情は長く続かなかった。
Ilia () ne longe daŭris.
- (5) 象はとても大きな動物です。
Elefanto estas () besto.
- (6) 部屋にいたみんなが大笑いした。
Ĉiuj en la ĉambro () .
- (7) その赤ん坊は健康がすぐれない。
La () estas () .
- (8) 少女は私に微笑んだ。
La knabino () al mi.
- (9) このキノコは食用に適さない。
Ĉi tiu fungo ne estas () .
- (10) 今夜は月がはっきりと見える。
En ĉi tiu nokto la luno estas klare () .

kuzino いとこ (女) pejzaĝo 風景、景色
impresi 印象づける、感銘を与える ege とても daŭri 続く
ĉiuj 皆が ridegi 大笑いする knabino 少女 fungo キノコ
luno 月 klare はっきりと

Leciono B16

比較級 (形容詞、副詞)

Masato estas pli aĝa ol Noriko.

マサトはノリコより年上です。

- ★ 比較級とは、二つの人、物などを比べて言う表現です。

形容詞の比較

A estas pli ---a ol B. AはBよりも～(形容詞)です。

Masato estas pli aĝa ol Noriko.

マサトはノリコより年上です。

副詞の比較

A ---as (-is, -os) pli ---e ol B.

AはBよりももっと～(副詞)にします。

Miho ludas pianon pli bone ol Noriko.

ミホはノリコよりも上手にピアノを弾きます。

- ★ 比較級の部分を形容詞的に使うこともできます。
(比較の対象を言わない。)

Miho estas pli aĝa fratino de Satoru.

ミホはサトルの姉(年上の姉妹)です。

- ★ 副詞の比較で、比較の相手を言わなくてよい場合もあります。

Mi volas paroli Esperanton pli bone.

私はもっとうまくエスペラントを話したい。

- ★ olの後は比較するもの同士が同じ格になります。

Mi amas vin pli multe ol lin.

私は彼(を)よりもずっとあなたのことを愛しています。

Kozma trinkis sakeon pli multe ol vinon.

コズマはワインよりもお酒(の方)をたくさん飲みました。

練習問題 次の()にあてはまる単語を書きましょう。

- (1) 東京は仙台よりも大きいです。

Tokio estas () () ol Sendai.

- (2) このバッグはあのバッグよりも高価です。

Tiu ĉi sako estas () () () tiu sako.

- (3) 彼は私よりも熱心にエスペラントを勉強している。

Li lernas Esperanton () () ol mi.

- (4) サトルはミホよりもたくさん食べました。

Satoru manĝis () () ol Miho.

- (5) 私はもっと速く走りたい。

Mi volas kuri () ().

- (6) 彼女の弟(年下の兄弟)はとても賢い。(若い juna)

Ŝia () () frato estas tre saĝa.

- (7) 私はもっと大きな辞書が必要です。

Mi bezonas () () vortaron.

- (8) 私はコーヒーを飲むのにもっといい場所を知っています。

Mi scias () () lokon por trinki kafon.

.....
aĝa 年上の、年の vino ワイン granda 大きい
multekosta 高価な saĝa 賢い diligente 勤勉に、熱心に
rapide 速く juna 若い vortaro 辞書 loko 場所
kafo コーヒー trinki 飲む bezoni ～を要する

Satoru estas la plej juna filo de Noriko.
 さとるはノリコの一番下 (若い) の息子です。

★ 最上級とは、三つ以上の人、物などを比べて、一番 (最も) ~ (形容詞) だ、という表現です。

(1) 形容詞の最上級は、**la plej ---a** で表します。
la plej juna 一番若い **la plej nova** 一番新しい

Li estas la plej juna frato de Erika.
 彼はえりかの一番下の弟です。

Ŝi estas la plej nova membro de nia Esperanto-klubo.
 彼女は私たちのエスペラントクラブで最も新しいメンバーです。

(2) 最上級の前に所有形容詞がつく場合は、**la** をつけません。
mia plej malnova amiko 私の一番古い友人
ŝia plej aĝa fratino 彼女の一番上の姉

(3) 最上級では、どういう範囲で一番なのか、**en** や **el** に続けて比較の対象グループを示します。(必ず示さなければならぬわけではありません。)

Erika estas la plej alta en la klaso.
 エリカはクラスで一番背が高い。

Erika estas la plej alta el la klasanoj.
 エリカはクラスメートの中で一番背が高い。

en ではある集合体 (集団) の中で、**el** では個別の比較対象の中で一番~だ、を表します。



練習問題 次の () にあてはまる単語を書きましょう。

(1) アキオは私たちのクラスで一番背の高い男子です。
Akio estas () () () knabo en nia klaso.

(2) ロシアは世界で一番大きな国です。
Rusio estas () () () lando en la mondo.

(3) それは彼女の一番新しいバッグです。
Tio estas () () () sako.

(4) 彼は私の友人たちの中で一番太っています。
Li estas la plej dika () miaj geamikoj.

(5) ヨーロッパで一番高いのはどの山ですか。
Kiu monto estas () () () en Eŭropo?

(6) 私のおじいさんは、家族の中で一番年上です。
Mia avo estas la plej aĝa () mia familio.

(7) マイケル・ジャクソンはアメリカで最も有名な歌手でした。
Michael Jackson estis () () () kantisto en Usono.

membro メンバー klubo クラブ aĝa 年上の
 alta 高い (背・山など) lando 国 mondo 世界
 sako バッグ dika 太っている monto 山
 Eŭropo ヨーロッパ avo おじいさん kantisto 歌手
 fama 有名な

Leciono B18

最上級 2

練習問題 次の()にあてはまる単語を書きましょう。

Kazuo povas kuri plej rapide en la klaso.
カズオはクラスで一番速く走ることができます。

★ 副詞の最上級は、plej ---e で表します。

- (1) 形容詞のように la をつける必要はありません。

Ŝi rakontis plej interese.

彼女が一番おもしろく語りました。

Li venis al mia domo plej frue el ili.

彼が、彼らの中で一番早く、私の家に来ました。

- (2) 副詞の最上級でも、比較の対象範囲は en や el に続けて表します。(上の例文にもあるように、必ず示さなければならないわけではありません。)

Ŝi rakontis plej interese en la klaso.

彼女がクラスの中で一番おもしろく語りました。

Kumiko parolas Esperanton plej bone en nia klubo.

クミコが私たちのクラブで一番じょうずにエスペラントを話します。

Noriko ridis plej bone en mia grupo.

私のグループでは、ノリコが一番よく笑いました。

Li kuras plej rapide el la klasanoj.

彼がクラスメートの中で一番速く走ります。

Mi manĝas plej malrapide el miaj familianoj.

私は家族の中で食べるのが一番遅い。

- (1) 彼が最も賢く返答しました。

Li respondis () ().

- (2) 彼女が一番きれいに踊りました。

Ŝi dancis () ().

- (3) エリカが一番遅れて(遅く)到着しました。

Erika alvenis () ().

- (4) 私の母は家族の中で一番早く起きます。

Mia patrino ellitiĝas () () () mia familio.

- (5) その会議では彼が一番長く話しました。

Li parolis () () en la kunsido.

- (6) サトルがクラスメートの中で一番ゆっくり食べました。

Satoru manĝis () () el la klasanoj.

- (7) 私の犬がそれらの犬たちの中で一番速く走れます。

Mia hundo povas kuri () () () tiuj hundoj.

kuri 走る veni 来る frue 早く ĉi tie ここ rakonti 語る
interese おもしろく rapide 速く ridi 笑う bele 美しく
grupo グループ respondi 答える saĝe 賢く
malfrue 遅く ellitiĝi 起きる longe 長く kunsido 会議

Leciono B19

従属接続詞 **kiam**

La familio Tanaka transloĝiĝis al Tokio, kiam Miho estis dek-jara.

みほが十歳の時に田中家は東京へ引越しました。

★ **kiam** は疑問詞の他に、主文に時や場合に関する説明文（**kiam** で始まる従属文）を加える使いかたがあります。

【主文】 **La familio Tanaka transloĝiĝis al Tokio.**

田中家は東京へ引越しました。

【説明文】 **Miho estis dek-jara.** みほは十歳でした。

La familio Tanaka transloĝiĝis al Tokio, kiam Miho estis dek-jara.

主文

従属文

みほが十歳の時に田中家は東京へ引越しました。

【主文】 **Masato eklernis Esperanton.**

まさとはエスペラントを学び始めました。

【説明文】 **Masato estis universitata studento.**

まさとは大学生でした。

Masato eklernis Esperanton, kiam li estis universitata studento.

主文

従属文

まさとは大学生の時にエスペラントを学び始めました。

(注：従属文の主語を **Masato** から **li** に書き換えています。)



kiam で始まる文が文の最初にくる場合もあります。

Kiam Miho estis dek-jara, la familio Tanaka transloĝiĝis al Tokio.

transloĝiĝi 引越しする dek-jara 十歳の
eklerni 学び始める universitata 大学の

練習問題 日本語に合うよう二つの文を一文に書き換えましょう。

(例) 彼の成功の知らせを聞いた時にのり子は喜んだ。

主文 **Noriko ekĝojis.**

説明文 **Noriko aŭdis novaĵon de lia sukceso.**

Noriko ekĝojis, kiam ŝi aŭdis novaĵon de lia sukceso.

(1) ハノイで世界大会があった時に私たちは知り合った。

主文 **Ni interkonatiĝis.**

説明文 **Okazis la Universala Kongreso en Hanojo.**

(2) 若かった時にまさとはもっと速く走ることができた。

主文 **Masato povis kuri pli rapide.**

説明文 **Masato estis juna.**

(3) 母親が 30 歳だった時にみほは横浜で生まれた。

主文 **Miho naskiĝis en Jokohamo.**

説明文 **La patrino de Miho estis tridek-jara.**

novajo ニュース、知らせ naskiĝi 生まれる
tridek-jara 三十歳の interkonatiĝi (互いに) 知り合いになる
ĝoji 喜んでいる ekĝoji 喜ぶ Hanojo ハノイ

Leciono B20

従属接続詞 **ĉar, se**

Miho trinkis akvon, ĉar ŝi estis soifa.

みほは喉が渴いていたので、水を飲みました。

Ni piknikos, se morgaŭ estos bona vetero.

明日天気良ければ、私たちはピクニックをします。

- ★ ここでは、主文と **ĉar**【理由】や **se**【仮定、条件】で始まる従属文とで構成される文を扱います。

La trajno malfruiĝis, ĉar okazis akcidento.

└── 主文 ─┘ └── 従属文 ─┘

事故が起きたので、電車が遅れました。

Ni iris tien piede, ĉar ni ne povis kapti taksion.

タクシーがつかまらなかったなので、私たちはそこへ徒歩で行きました。

Mi iros al la maro en ĉi tiu semajnfino, se ne pluvos.

今週末、雨が降らなければ、私は海に行くつもりです。

Vi devas tuj foriri, se tio estas vera.

それが本当なら、あなたはすぐに立ち去らなければならない。



Se tio estas vera, vi devas tuj foriri. のように、**se**で始まる文（従属節）を前にもってくることもできます。

soifa 喉の渴いた pikniko ピクニック malfruiĝi 遅れる
piede 徒歩で kapti つかまえる taksio タクシー tien そこへ
semajnfino 週末 tuj すぐに foriri 立ち去る vera 本当の

練習問題 日本語に合うよう二つの文を一文に書き換えましょう。

- (1) まさとは空腹だったので、ピザを食べた。

Masato manĝis picon. Li malsatis.

- (2) 台風が接近したので、飛行機が飛ばなかった。

La aviadilo ne flugis. Tajfuno proksimiĝis.

- (3) 時間があるならば、私たちは中心街に行きましょう。

(se を使用)

Ni iru al la centro de la urbo. Ni havas tempon.

- (4) 私たちは、許可が得られれば、その建設をできるだけ早く始める。

Ni komencos la konstruadon kiel eble plej frue.

Ni ricevos permeson.

pico ピザ malsati 空腹である (= esti malsata)

aviadilo 飛行機 flugi 飛ぶ tajfuno 台風

proksimiĝi 近づく konstruado 建設

kiel eble plej frue できるだけ早く permeso 許可

Leciono B21

移動の対格

練習問題 次の () にあてはまる単語を書きましょう。

Masato kaj Noriko iris en la kafejon.
まさとのり子は喫茶店に入りました。

- ★ 場所をあらわす前置詞の後の名詞を対格 **-n** にすると、その場所への移動を表します。

en la kafejo 喫茶店の中で en la kafejon 喫茶店の中へ
sur la tablo 机の上に sur la tablon 机の上へ
antaŭ la lernejo 学校の前で antaŭ la lernejon 学校の前へ

Masato kaj Noriko iris en la kafejon.

まさとのり子は喫茶店に入りました。

Li metis la libron sur la tablon.

彼はその本をテーブルの上に置きました。

La lernantoj kolektiĝis antaŭ la lernejo.

生徒たちは学校の前で集合しました。

La lernantoj kolektiĝas antaŭ la lernejon.

生徒たちは学校の前へと集まります。

- ★ 方向を示す前置詞 **al**, **ĝis** の後ろには、移動の対格 **-n** を使いません。

Mi iris al la biblioteko.

私はその図書館へ行きました。

Noriko akompanis la knabon ĝis lia domo.

のり子はその少年を家まで送りました。

- (1) 受講生たちはクラスの後、喫茶店に入りました。
La kursanoj iris en la () post la klaso.
- (2) まさとはその部屋に入りました。
Masato eniris en la ().
- (3) 鉛筆を机の上に置いてください。
Metu vian krajonon sur la ().
- (4) 飛行機は空へと飛びたちました。
La aviadilo forflugis en la ().
- (5) あなたのスプーンがテーブルの下に落ちましたよ。
Via kulero falis sub la ().
- (6) 私たちはその公園の前へ集合しました。
Ni kolektiĝis antaŭ la ().
- (7) その駅の入口へきてください。
Venu al la () de la stacidomo.
- (8) あなたの家までお送りしましょう。
Mi akompanos vin ĝis via ().

.....
kafejo 喫茶店 ĉambro 部屋 kolektiĝi 集まる
biblioteko 図書館 akompani 同行する kursano(j) 受講生
aeroplano 飛行機 forflugi 飛びたつ aero 空気、空
kulero スプーン parko 公園 enirejo 入口

Ni eklaboris la 4an de januaro post la novjaraj ferioj.

私たちはお正月休みの後 1 月 4 日に仕事を始めました。

- ★ 前置詞の代わりに対格語尾 **-n** を使うことができます。
主に次のような場合に使われます。

- (1) 日付など時を表わす **en** の代わり

Ni eklaboris en la 4a de januaro post la novjaraj ferioj.

Ni eklaboris la 4an de januaro post la novjaraj ferioj.

私たちはお正月休みの後 1 月 4 日に仕事を始めました。

En la lasta somero Noriko vojaĝis al Vjetnamio.

La lastan someron Noriko vojaĝis al Vjetnamio.

この前の夏、のり子はベトナムに旅行しました。

- (2) 期間 **dum** の代わり

Dum tuta nokto Satoru okupiĝis pri la hejmtasko.

Tutan nokton Satoru okupiĝis pri la hejmtasko.

さとりは夜通しその宿題にかかりきりでした。

Ni laboras dum kvin tagoj semajne.

Ni laboras kvin tagojn semajne.

私たちは週に 5 日働きます。

- (1) Someraj ferioj de la lernejo komenciĝas en la 21a de julio.

その学校の夏休みは 7 月 21 日に始まります。

- (2) Dum du monatoj ili laboris por la nova projekto.

2 ヶ月間彼らはその新しい企画のために働きました。

- (3) Dum tridek jaroj mi loĝas en la naturplena vilaĝo.

私は 30 年間その自然が豊かな村に住んでいます。

- (4) Li estos for de la hejmo dum kelka tempo.

彼はしばらく家を留守にするでしょう。

- (5) Mia filino naskiĝis en la 29a de februaro.

私の娘は 2 月 29 日に生まれました。

novjara 新年の Vjetnamio ベトナム okupiĝi 従事する
hejmtasko 宿題 projekto 企画 naturplena 自然が豊かな

Erika partoprenis en Universala Kongreso de Esperanto tri fojojn.

エリカは世界エスペラント大会に3回参加しました。

- ★ 前置詞代用の対格は、**en, dum** のほか、次のような場合に使われます。

(3) 回数、数量、金額など

Erika partoprenis en Universala Kongreso de Esperanto tri fojojn.

エリカは世界エスペラント大会に3回参加しました。

La kriptomerio estas 20 metrojn alta.

その杉の木は高さが20メートルあります。

Tiu nova vortaro kostas kvin mil enojn.

その新しい辞書は5000円です。

- ★ 上記の文章は前置詞 **je** を使って以下のようにも言えます。

Erika partoprenis en Universala Kongreso de Esperanto je tri fojoj.

La kriptomerio estas je 20 metroj alta.

Tiu nova vortaro kostas je kvin mil enoj.

- ★ 場所を表す副詞に対格語尾 **-n** をつけると、移動の方向や目標をあらわします。

La kajto flugis alten kaj alten.

たこは高く高く飛びました。

Mi iris hejmen tuj post la kunsido.

私はその会合の後すぐに帰宅しました。

(1) **La valizo pezas nur je kelkaj kilogramoj.**

その旅行カバンは重さ数キログラムしかありません。

(2) **La strato estas je kvin metroj larĝa.**

その通りは幅5メートルです。

(3) **Por la unua fojo Tibor vidis kabukon en Tokio.**

ティボールははじめて東京で歌舞伎を見ました。

(4) **La nova turo estas je 634 metroj alta.**

その新しいタワーは高さが634メートルあります。

(5) **Mi iras al hejmo.**

私は帰宅するところです。

.....
kriptomerio 杉の木 kajto たこ kabuko 歌舞伎

dormanta bebo 眠っている赤ちゃん

★ 動詞 **dormi** (眠る) と接尾辞 **-ant-** と形容詞語尾 **-a** とが組み合わされて **dormanta** (眠っている) という分詞形容詞ができます。

- dormanta bebo 眠っている赤ちゃん
- dormanta patrino 眠っている母親
- dormantaj katoj 眠っているねこ (複数)

★ **-ant-** を含め、次にあげる接尾辞を動詞の語根に続けて、動作を行う側の完了、継続、未然の別を表します。
分詞接尾辞 (能動) と呼びます。

	完了	継続	未然
能動	-int- してしまった	-ant- している	-ont- しようとする

- la pasinta jaro 過ぎ去った年、去年
- la venonta jaro やって来る年、来年
- knabo skribinta leteron 手紙を書いていた少年
- knabo skribanta leteron 手紙を書いている少年
- knabo skribonta leteron 手紙を書こうとしている少年

分詞形容詞 **skribinta** は、関連する語 **leteron** を伴うので、修飾する名詞 **knabo** の後ろにおきます。



練習問題

適切な分詞接尾辞と形容詞語尾を用いて、() に日本語の意味に相当する単語を記入しましょう。

- 例 Avino dormas. ⇒ 眠っているおばあさん (祖母)
(dormanta) avino
- (1) Knabino ludas. ⇒ 遊んでいる少女
() knabino
- (2) Knabino kantas. ⇒ 歌っている少女
() knabino
- (3) Birdoj flugas. ⇒ 飛んでいる鳥 (複数)
() birdoj
- (4) Printempo venos. ⇒ やってくる春、来春
() printempo
- (5) Trajno ekiros. ⇒ 出発しようとしている列車
() trajno
- (6) Trajno alvenis. ⇒ 到着した列車
() trajno
- (7) Trajno veturas. ⇒ 走っている列車
() trajno
- (8) Folioj falis. ⇒ 落ちた葉 (複数)、落ち葉
() folioj

.....
printempo 春 trajno 列車 folio 葉 fali 落ちる

Leciono B25

分詞 2

ŝatata kanto 好まれている歌、好きな歌

★ 動詞の語根に続けて、動作を受ける側の完了、継続、未然を表す分詞接尾辞（受動）があります。

	完了	継続	未然
受動	-it- されてしまった	-at- されている	-ot- されようとする

★ 形容詞語尾 **-a** を付けると形容詞として使えます。

skribita letero 書かれた手紙
skribata letero 書かれている手紙
skribota letero 書かれようとしている手紙

例)

uzita aŭto 使われた車、中古車
ŝatata kanto 好まれている歌、好きな歌



日本語では好きな歌と言いますが、歌が、好むという動作を受ける対象なので、エスペラントでは、受動の分詞接尾辞 **ŝatata** を用います。

★ 動作主は前置詞 **de** を用いて表します。

letero skribata de knabo 少年によって書かれている手紙

練習問題

1. 受身の形に注意して形容詞を作り () に記入しましょう。

例 **Mi legas la libron.** ⇒ 読まれている本
 (**l e g a t a**) **libro**

(1) **Mi legis la libron.** ⇒ 読まれた本
 () **libro**

(2) **Mi legos la libron.** ⇒ 読まれるであろう本
 () **libro**

(3) **Mi konas la sinjoron.** ⇒ 知られている紳士
 () **sinjoro**

2. 動詞 **skribi** (書く) の語根に適切な分詞接尾辞をつけ、**letero** を修飾する形容詞を作り、() 内に記載しましょう。



[絵 沢さちこ]

letero ()
de knabo

letero skribata **de knabo**

letero ()
de knabo

.....
uzi 使う **ŝati** 好む

Leciono B26

分詞 3

Doktoro Esperanto エスペラント博士

- ★ Esperanto という単語は「希望する人」を意味しています。
動詞 *esperi* (希望する) と「～する人」を意味する接尾辞 *-anto* (接尾辞 *-ant-* + 名詞語尾 *-o*) とが組み合わさられています。
- ★ 能動の分詞接尾辞と名詞語尾 *-o* により「～する人、～した人、～しようとしている人」を表します。
- | | | |
|------------------|-----------|------------|
| <i>lernanto</i> | 生徒 | (学んでいる人) |
| <i>parolanto</i> | 話し手 | (話している人) |
| <i>mortinto</i> | 死者 | (死んでしまった人) |
| <i>parolonto</i> | 話そうとしている人 | |
- ★ 受動の分詞接尾辞と名詞語尾 *-o* により「～される人、～された人、～されようとしている人」を表します。
- | | | |
|-------------------|--------|-----------------|
| <i>konato</i> | 知人 | ((他者に) 知られている人) |
| <i>amato</i> | 恋人、愛人 | ((他者に) 愛されている人) |
| <i>interesito</i> | 関心のある人 | (関心を惹かれた人) |
| <i>ekzamenoto</i> | 受験予定者 | (試験されようとしている人) |

ザメンホフは、エスペラント博士という筆名を使って国際語を発表し、それがことばの名前になりました。



練習問題

1. それぞれの文の動詞から、～した人、～している人、～しようとする人などの単語を作り出して () に記入しましょう。

例 *Mi lernas en la lernejo.* ⇒ 学んでいる人、生徒
(*l e r n a n t o*)

- (1) *Li prezidas la kunsidon.* ⇒ 司会している人、司会者
()
- (2) *Li aŭskultas la radio-elsendon.* ⇒ 聴いている人、聴取者
()
- (3) *Li ĉeestas en la kunsido.* ⇒ 出席している人
()
- (4) *Li ĉeestis en la kunsido.* ⇒ 出席した人
()
- (5) *Li ĉeestos en la kunsido.* ⇒ 出席する予定の人
()

2. それぞれの文の動詞から、～されている人、～された人、などの単語を作り出して () に記入しましょう。

- (1) *Mi konas la sinjoron.* ⇒ 知られている人
()
- (2) *La rakonto interesis min.* ⇒ 関心を惹かれた人
()

.....
morti 死ぬ *interesi* 興味を持たせる、関心を持たせる
ĉeesti 出席している (*ĉe + esti* チェ エスティ)

Leciono B27

分詞 4

練習問題

surprizite 驚かされて、びっくりして

- ★ 分詞接尾辞に副詞語尾 **-e** をつけると、「～しようとして、～しながら、～してしまつて」との言い方ができます。

Legonte ĵurnalon, la maljunulo prenis okulvitrojn.

新聞を読もうとして、その老人はめがねを取つた。

Aŭskultante radion, Noriko skribas leteron.

ラジオを聴きながら、のり子は手紙を書いている。

Perdinte la vojon, Miho petis helpon de pasanto.

道に迷つてしまつて、みほは通行人に助けを求めた。

受身の例は

Informite pri la kunsido, Satoru ĉeestis ĝin.

その会合について知らされて、さとりはそれに出席した。

Surprizite Makoto malfermis la okulojn larĝe.

びっくりして(驚かされて)、まことは目をみはつた。

(再掲、初出 B24 課、B25 課)

	完了	継続	未然
能動	-int- してしまつた	-ant- している	-ont- しようとする
受動	-it- されてしまつた	-at- されている	-ot- されようとする

-a 形容詞、-o 名詞(人)、-e 副詞(分詞構文)

1. 適切な接尾辞と副詞語尾を用いて () に単語を記入しましょう。

(1) () **la ĵurnalon, Masato metis ĝin sur la tablon.**

新聞を読んでしまつて、まさとはそれをテーブルの上に置いた。

(2) () **radion, Noriko lavas manĝilojn.**

ラジオを聴きながら、のり子は食器を洗っている。

(3) () **leteron al Miho, li serĉis ŝian adreson.**

みほに手紙を書こうとして、彼はみほの住所を探した。

(4) () **pri la akcidento, Satoru ŝanĝis la planon.**

事故について知らされて、さとりは計画を変更した。

2. 適切な接尾辞と形容詞語尾を用いて、() に単語を記入しましょう。

(1) 眠っている子ども (**dormi**) () **infano**

(2) 愛されている子どもたち (**ami**) () **infanoj**

(3) 失われた財布 (**perdi**) () **monujo**

(4) 建てられようとする家 (**konstrui**) () **domo**

.....
ĵurnalo 新聞 **pasanto** 通行人 **okulvitroj**(複数) めがね
manĝilo 食器 **perdi** 失う **monujo** 財布

Masao estas leginta la libron.
 masaoはその本を読んでしまっている。

★ 表題の文中 **leginta** は 動詞 **legi** から作られた「完了」を表す分詞形容詞（能動）です。

leg- と **-int-** (完了) と **-a** を組み合わせて作られています。これを動詞 **esti** とともに用いて、完了を表す文ができます。

Masao estas leginta la libron.

masaoはその本を読んでしまっている。

★ 上の文は、述語が **estas** と現在形ですから、今時点のことを述べています。次の文は、それぞれ、過去のこと、未来のことになります。**esti** の動詞語尾に注目してください。

Masao estis leginta la libron.

masaoはその本を読んでしまっていた。（過去のこと）

Masao estos leginta la libron.

masaoはその本を読んでしまっているだろう。（未来のこと）

(再掲、初出 B24 課)

	完了	継続	未然
能動	-int- してしまった	-ant- している	-ont- しようとする

「完了」を表す文を、分詞形容詞（能動）を用いて、完成させましょう。後半の問題では適切な形で動詞 **esti** を用いてください。

- masatoはその手紙 (**letero**) を読んでしまっている。
Masato estas () **la leteron.**
- masatoは手紙を書いて (**skribi**) しまっている。
Masato estas () **leteron.**
- masatoは報告 (**raporto**) を書いてしまっている。
Masato estas () **raporton.**
- masatoはその仕事 (**laboro**) を終えて (**fini**) しまっている。
Masato estas () **la laboron.**
- のり子はその本を読んでしまっている。（今の時点）
Noriko () () **la libron.**
- のり子は昨日その本を読んでしまっていた。（過去のこと）
Hieraŭ Noriko () () **la libron.**
- のり子は明日その本を読んでしまっているだろう。（未来のこと）
Morgaŭ Noriko () () **la libron.**
- エリカは空港に着いて (**alveni**) しまっている。（今の時点）
Erika () () **al la flughaveno.**

raporto 報告 flughaveno 空港 alveni 到着する fini 終える

Leciono B29

複合時制 2

練習問題

Masao estas leganta la libron.
まさおはその本を読んでいる最中だ。

- ★ 表題の文中 **leganta** は 動詞 **legi** から作られた「進行」を表す分詞形容詞（能動）です。
leg- と **-ant-**（進行）と **-a** を組み合わせて作られています。
これを動詞 **esti** とともに用いて、進行を表す文ができます

Masao estas leganta la libron.
まさおはその本を読んでいる最中だ。

- ★ 「未然」を表す能動の分詞形容詞 **legonta** を動詞 **esti** とともに使うと、これから起ころうとしていることを表す文になります。

Masao estas legonta la libron.
まさおはその本をこれから読もうとしている。

- ★ 時に関する副詞を使う次の言い方でも、完了・進行・未然に類似する意味を表せます。こちらがよく用いられます。

Masao jam legis la libron.	まさおはすでにその本を読んだ。
Masao nun legas la libron.	まさおは今その本を読んでいる。
Masao tuj legos la libron.	まさおはすぐにその本を読むだろう。

「進行中」を表す文を、分詞形容詞（能動）を用いて、完成させましょう。後半の問題では適切な形で動詞 **esti** を用いてください。

- のり子はその手紙 (**letero**) を読んでいる最中です。
Noriko estas () la leteron.
- のり子は雑誌 (**gazeto**) を読んでいる最中です。
Noriko estas () gazeton.
- のり子は絵 (**bildo**) を描いて (**pentri**) いる最中です。
Noriko estas () bildon.
- のり子は電話で (**telefone**) 話して (**paroli**) いる最中です。
Noriko () () telefone.
- のり子はそのとき、電話で話している最中でした。（過去）
Tiam Noriko () () telefone.

分詞形容詞を使う文と類似の意味を、それを使わずに時に関する副詞を使う文で表しましょう。

- Masato estas reveninta hejmen.**
まさとはすでに帰宅しました。
Masato () () hejmen.
- Noriko estas aŭskultanta radion.**
のり子は今、ラジオを聞いています。
Noriko () () radion.

.....
gazeto 雑誌 bildo 絵 pentri 絵をかく、描く telefone 電話で

La bildo estas pentrita de mi.

その絵は、私によって描かれたものです。

★ 表題の文中 **pentrita** は動詞 **pentri** から作られた受動の完了を表す分詞形容詞です。 **pentr-** と **-it-** (完了) と **-a** を組み合わせて作られています。これを動詞 **esti** とともに用いて、完了の受身を表す文ができます。

La bildo estas pentrita de mi.

その絵は私によって描かれたものです。

★ **de mi** のように **de** を使って動作の主を表します。

「私」 (**mi**) を主語にした能動の文は、次のようになります

Mi pentris la bildon. 私がその絵を描きました。

★ 「進行」の受動分詞形容詞を用いると進行中の受身になります。

La bildo estas pentrata de Masao.

その絵はまさおによって描かれている最中のものです。

(再掲、初出B25 課)

	完了	継続	未然
受動	-it- されてしまった	-at- されている	-ot- されようとする

能動の文から、受身の文を作りましょう。

- (1) **Masato pentris la bildon. Masato estas pentrinta la bildon.**
La bildo estas () de Masato.
- (2) **Noriko legis la libron. Noriko estas leginta la libron.**
La libro estas () de Noriko.
- (3) **Noriko tradukis la leteron en Esperanton.**
Noriko estas tradukinta la leteron en Esperanton.
La letero estas () de Noriko en Esperanton.
- (4) **La lernantoj lernas Esperanton.**
La lernantoj estas lernantaj Esperanton.
Esperanto estas () de la lernantoj.
- (5) **Ĉiuj konas la sinjoron.**
La sinjoro estas () de ĉiuj.
- (6) **Oni fermis la pordon.**
La pordo estas () .



oni は人物を明示せずに主語となる人称代名詞です。受身では **de oni** と表す必要はありません。(6)の2つの文は、日本語の「戸が閉まっている」との意味になります。

traduki 翻訳する fermi 閉める、閉じる

Erika iradas al lernejo kun sia frato.

エリカは自分の弟と学校に通います。

- ★ 主語が三人称の場合に、その文の中で「自分/自分自身」にあたる代名詞が **si** で、前置詞の後の主格 (**si**)、形容詞語尾をつけて所有を表す (**sia**)、対格 (**sin**) の形で使われます。

Erika iradas al lernejo kun sia frato.

エリカは (だれか別の) 彼女の弟と学校に通います。

Erika iradas al lernejo kun sia frato.

エリカは自分の弟と学校に通います。

Tiu viro banis sin.

その男性はお風呂に入った。

Ŝi tro amas sian filon.

彼女は息子を溺愛しています。

Ili respektas sin reciproke.

彼らはお互いに尊敬しあっています。

- ★ 副詞 **mem** を加えると、意味が強くなります。

Tomoko kuiris tagmanĝon por si mem.

トモ子は自分自身のために昼食を作りました。

- ★ 再帰代名詞は主語には使われません。

Li kaj liaj amikoj venis. ○

Li kaj siaj amikoj venis. ×

彼と彼の友達が来ました。

練習問題 次の () にあてはまる単語を書きましょう。

- (1) 彼女は自分のために高価な指輪を買いました。
Ŝi aĉetis multekostan ringon por () mem.
- (2) 彼は自分の母親と暮らしています。
Li loĝas kun () patrino.
- (3) 彼は自分の息子に数学を教えました。
Li instruis matematikon al () filo.
- (4) どの生徒も手を挙げました。
Ĉiu lernanto levis () manon.
- (5) その年老いた女性は、自らの若い頃を思い出しました。
Tiu maljunulino rememoris () junecon.
- (6) その少年は自己紹介をしました。
Tiu knabo prezentis () .
- (7) 彼らは深く愛し合っていました。
Ili profunde amis () reciproke.

iradi 通う bani sin 入浴する respekti 尊敬する
reciproke お互いに mem 自身 levi 挙げる
mano 手 instrui 教える matematiko 数学
rememori 思い出す juneco 若い頃 profunde 深く
prezenti sin 自己紹介する multekosta 高価な ringo 指輪

Leciono B32

接尾辞 -iĝ-

練習問題 次の () にあてはまる単語を書きましょう。

Nova kurso komenciĝos en aprilo.
新しい講座は4月に始まります。

ここでは接尾辞*-iĝ-*の主な用法について学習します。

★ 語根に*-iĝ-*を付けて

- (1) 他動詞を自動詞化する。

Ni komencos novan kurson en aprilo.
私たちは4月に新しい講座を始めます。

Nova kurso komenciĝos en aprilo.
新しい講座は4月に始まります。

Mia filino naskis bebon en majo.
私の娘は5月に赤ちゃんを産みました。

La bebo naskiĝis en majo.
その赤ちゃんは5月に生まれました。

- (2) 形容詞・名詞語根に付いて自動詞を作る。

juna 若い⇒ juniĝi 若くなる⇒ rejuniĝi 若返る
Li rejuniĝis per laŭta kantado.
彼は大声で歌うことで若返りました。

nulo ゼロ⇒ nuliĝi なくなる/キャンセルになる

Ekskurso nuliĝis pro pluvego.
大雨のため、遠足はなくなりました。

vico 列⇒ viciĝi 列に並ぶ

Infanoj bele viciĝis.
こどもたちは上手に並びました。

(1) その授業は午後4時に終わります。(fini)
La leciono () je la kvara posttagmeze.

(2) 私たちの工場では、8時に仕事が始まります。(komenci)
En nia fabriko () laboro je la oka.

(3) 彼女は毎日のウォーキングで健康になりました。(sana)
Ŝi () per ĉiutaga marŝado.

(4) 最近彼は太りました。(dika)
Li () lastatempe.

(5) 彼の祖父は1920年生まれです。(naski)
Lia avo () en 1920.

(6) この3カ月でその子犬は大きくなりました。(granda)
Tiu hundido () en la lastaj tri monatoj.

.....
kurso 講座 komenciĝi 始まる naski 産む bebo 赤ちゃん
naskiĝi 生まれる juniĝi 若くなる rejuniĝi 若返る
nuliĝi なくなる ekskurso 遠足 pluvego 大雨 vico 列
viciĝi 列に並ぶ leciono 授業 fabriko 工場
marŝi 行進する、歩く lasta 最後の、最近の

Instruisto starigis la lernanton.

教師はその生徒を立たせた。

ここでは接尾辞の中の-ig-の主な用法について学習します。

★ 語根に-ig-を付けて

- (1) 自動詞を他動詞化する。

La lernanto staras.

その生徒は立っています。

Instruisto starigis la lernanton.

教師はその生徒を立たせた。

Li mem venis.

彼自身が来ました。

Li venigis ŝin.

彼は彼女を来させた。

- (2) 形容詞・名詞語根に付いて他動詞を作る。

juna 若い⇒ junigi 若くする⇒ rejunigi 若返らせる

Laŭta kantado rejunigis lin.

大声で歌うことが彼を若返らせた。

nulo ゼロ⇒ nuligi 取り消す (ゼロにする)

Mi nuligis mian mendon.

私は自分の注文を取り消した。

vico 列⇒ vicigi 列に並ばせる

Ŝi vicigis infanojn.

彼女はこどもたちを並ばせた。

練習問題 次の () にあてはまる単語を書きましょう。

- (1) 彼は彼女を夜 8 時まで働かせます。(labori)

Li () ŝin ĝis la oka vespere.

- (2) 彼女は私のためにスープを温めてくれました。(varma)

Ŝi () supon por mi.

- (3) 私は夏の旅行を取り消しました。(nulo)

Mi () mian someran vojaĝon.

- (4) 彼女は毎日のウォーキングで健康になりました。(sana)

Ĉiutaga marŝado () ŝin.

- (5) 教師はその生徒を座らせました。(sidi)

Instruisto () la lernanton.

- (6) 私はそのデータを更新しました。(nova)

Mi () la datumon.

.....

starigi 立たせる stari 立つ venigi 来させる veni 来る rejunigi
 若返えさせる laŭta 大きな声の nuligi 取り消す mendo 注文 vico
 列 vicigi 並ばせる ĉiutaga 毎日の marŝado ウォーキング
 datumo データ

Leciono B34

線動詞と点動詞 2

Li stariĝis kaj ankoraŭ staras.

彼は立ち上がった。そして、まだ立ったままだ。

★ 接尾辞 -iĝ- には、線動詞から状態の移行を表す点動詞を作る働きがあります。

sidi 座っている (線動詞) sidiĝi 座る (点動詞)
stari 立っている (線動詞) stariĝi 立ち上がる (点動詞)

★ 接頭辞 ek- を線動詞に付けると、状態の開始を表す点動詞ができます。

scii 知っている (線動詞) ekscii 知る (点動詞)
memori 覚えている (線動詞)
ekmemori 覚える (点動詞)

関連で rememori 思い出す (点動詞)

★ 時を表す言い方に留意してください。

Mi scias tion de hieraŭ.

昨日から、私はそのことを知っている。(線動詞)

Mi eksciis tion hieraŭ.

昨日、私はそのことを知った。(点動詞)

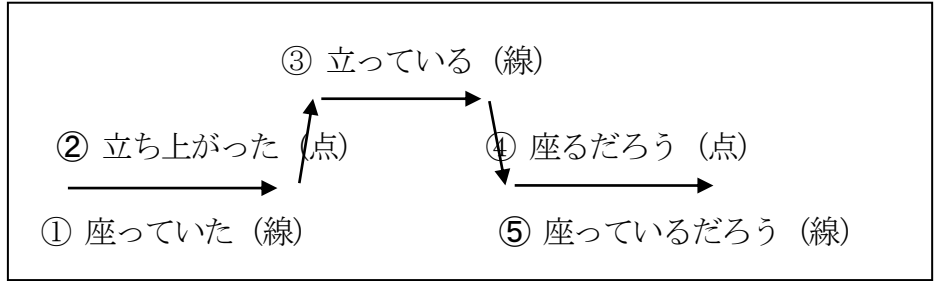
上の線動詞の例文では、その状態がいつから続いているかを述べ、点動詞の例文では、そのことがいつ起きたかを述べています。



線動詞は日本語の「～している」に対応します

練習問題

1. 次の () にあてはまる単語を書きましょう。



- (1) Mi () . 私は座っていた。(線動詞・過去)
(2) Mi () . 私は立ち上がった。(点動詞・過去)
(3) Mi () . 私は立っている。(線動詞・現在)
(4) Mi () . 私は座るだろう。(点動詞・未来)
(5) Mi () . 私は座っているだろう。(線動詞・未来)

2. 次の日本語に相当するエスペラント文を書きましょう。

- (1) 昨日、私は、本を失くした。
(2) 昨日から、私は、その本を探している。

perdi 失くす、失う serĉi 探している stariĝi 立ち上がる stari 立っている
sidi 座っている sidiĝi 座る ekscii 知る
memori 覚えている ekmemori 覚える rememori 思い出す

Pluvas. 雨がふっています。

★ エスペラントでは、時刻、曜日、天候などを表す主語のない文があります。（英語の *it* にあたる形式主語はありません。）

(1) 天候や気象に関する名詞から派生した動詞を使う場合。

Pluvas.

雨が降っています。

Baldaŭ tagiĝos.

間もなく夜が明けるでしょう。

Neĝis hieraŭ nokte.

昨夜雪が降りました。

(2) 天候、時刻、曜日などについて言う場合。

Estas varme ĉi tie. (varma にしないよう注意！)

ここは暑い。

Estas la tria posttagmeze.

午後3時です。

Estas mardo.

火曜日です。

(3) 慣用的な表現。

Ne gravas.

たいしたことではありません。(大丈夫です。)

Pri kio temas? – Temas pri lia sano.

なんのことですか。－ 彼の健康のことです。

練習問題 次の () にあてはまる単語を書きましょう。

1. 天候、気象に関する名詞から派生した動詞を使って。

(1) 間もなく雨が降るでしょう。

Baldaŭ () .

(2) 北海道では雪がたくさん降りました。

() multe en Hokkajdo.

2. 時刻、曜日、天候などについて。

(1) 去年の冬はとても寒かった。

() tre malvarme en la lasta vintro.

(2) **Kioma horo nun estas?** の答えとして

午前10時半です。

() la deka kaj duono antaŭtagmeze.

(3) **Kiu tago estos morgaŭ?** の答えとして

(あすは) 金曜日です。

() vendredo.

3. 慣用的な表現

(1) なんのことですか。 **Pri kio temas?** の答えとして

お金のことです。

() pri mono.

pluvi 雨が降る tagiĝi 夜が明ける gravi 重要である
temi ～が主題である

La instruisto diris, ke instrui estas lerni.

その教師は、教えることは学ぶことである、と言った。

★ 話された内容を引用符で、そのまま伝えるのが直接話法です。

La profesoro diris: “Instrui estas lerni.”

その教師は言った。「教えることは学ぶことである」と。

★ 話し手の立場で、伝えることを間接話法といいます。

La profesoro diris, ke instrui estas lerni.

その教師は、教えることは学ぶことである、と言った。



この ke は、文の中に文を埋め込む働きをします。従属接続詞と呼ばれています。

★ 従属文に人称代名詞がある場合

【直接話法】 La instruisto diris: “**Mi** lernas dum instruado.”

その教師は言った。「私は教える間に学ぶ」と。

【間接話法】 La instruisto diris, ke **li** lernas dum instruado.

その教師は、教える間に学ぶ、と言った。

【直接話法】 La filo diris al sia patrino : “**Mi** respektas **vin**.”

息子は母に言った。「僕は母さんを尊敬する」と。

【間接話法】 La filo diris al sia patrino, ke **li** respektas **ŝin**. 息

子は、母に母さんを尊敬すると言った。



従属文の人称代名詞の変化に気をつけてください。

instruisto 教師 instruado 指導, 授業 ke [接] ~ということ
sia 自分自身の respekti 尊敬する、敬う

(1) 人は言う。「真実は勝つ」と。

Oni diras: “La vero venkas.”

Oni diras, () la () ().

(2) 母は息子に言いました。「お前は私の宝物だ」と。

La patrino diris al sia filo : “ Vi estas mia trezoro.”

La patrino diris al sia filo, () () estas () trezoro.

(3) 妻は夫に「皿を洗ってください」と言いました。

La edzino ordonis al sia edzo : “ Lavu telerojn !”

La edzino ordonis al sia edzo, ke () lavu telerojn.

(4) 夫は妻に「愛している」と言いました。

La edzo diris al sia edzino : “Mi amas vin.”

La edzo diris al sia edzino, ke () amas ().

(5) 師は弟子に言った。「真面目であれ」と。

La majstro diris al sia disĉiplo : “ Estu sincera !”

La majstro diris al sia disĉiplo, () () estu sincera.

(6) 「私は病気です」と彼は言った。

Li diris : “Mi estas malsana.”

Li diris, ke () estas malsana.

vero 真実、真理 venki 勝つ, 打ち破る trezoro 宝物 telero 皿
malsana 病気の

La majstro demandis sian disĉiplon, ĉu li estas sincera.

師は弟子に「お前はまじめか」と尋ねた。

- ★ Ĉu で始まる疑問文を直接話法から間接話法の表現に変えるには、引用符と疑問符を除いてそのまま従属文とし、人称代名詞を話し手から見たものに変え、文をピリオドで終わります。

父は息子に尋ねた。「お前はまじめか」と。

La patro demandis sian filon: “Ĉu vi estas sincera?”

→ La patro demandis sian filon, ĉu **li** estas sincera.

- ★ 疑問詞で始まる疑問文を直接話法から間接話法の表現に変える場合も同様です。引用符と疑問符を除いてそのまま従属文とし、人称代名詞を話し手から見たものに変え、文をピリオドで終わります。

父は娘に尋ねた。「何を勉強しているんだい」と。

La patro demandis sian filinon: “Kion vi lernas?”

→ La patro demandis sian filinon, kion **ŝi** lernas.



主文の動詞(demandis) が過去でも、ĉu で始まる文 (従属文) の動詞の時制は、直接話法の時制と同じにします。(estas や lernas のままで、estis や lernis にはなりません。)

練習問題 直接話法の文を間接話法にしましょう。

- (1) 母は息子に尋ねた。「あなたは健康なの」と。
La patrino demandis sian filon: “Ĉu vi estas sana?”
La patrino demandis sian filon, ĉu () estas sana.

- (3) 彼は彼女に尋ねた。「君は僕を愛しているの」と。
Li demandis ŝin: “Ĉu vi amas min?”
Li demandis ŝin, ĉu () amas ().

- (4) 彼女は彼に尋ねた。「あなたの家はどこですか」と。
Ŝi demandis lin: “Kie estas via domo?”
Ŝi demandis lin, () estas () domo.

- (5) 彼は彼女に尋ねた。「君は何者なんだ」と。
Li demandis ŝin: “Kio vi estas?”
Li demandis ŝin, () () estas.

- (6) 彼女は私に尋ねた。「あなたはいつ来ますか」と。
Ŝi demandis min: “Kiam vi venos?”
Ŝi demandis min, () () venos.

- (7) 父は娘に尋ねた。「元気か」と。
La patro demandis sian filinon: “Kiel vi fartas?”
La patro demandis sian filinon, () () fartas.

.....
demandi 質問する sincera 誠実な、まじめな

Leciono B38

関係代名詞 **kiu** 1

Tio estas blanka vino, kiu estas donaco al mia patrino.

それは母へプレゼントする白ワインです。

★ ここに二つの文があります。

① Tio estas blanka vino. それは白ワインです。

② La vino estas donaco al mia patrino.

そのワインは母へのプレゼントです。

① の **blanka vino** と ② の **La vino** は同じものを指しています。そこで、**La vino** と繰り返さず、かわりに **kiu** に置き換えて二文をつなぐと、表題にある文になります。ここで、**kiu** で始まる部分 (**kiu** が導く文) が ① の **blanka vino** の説明をする働きをします。この **kiu** を **関係代名詞** といい、その前の **blanka vino** を **先行詞** といいます。

Tio estas blanka vino. La vino estas donaco al mia patrino.

⇒ Tio estas blanka vino, kiu estas donaco al mia patrino.

① Mi havas onklinon. 私にはおばがいます。

② Ŝi loĝas en Usono. 彼女はアメリカに住んでいます。

onklino と **Ŝi** は同じ人を指します。**Ŝi** を **kiu** に置き換えると

⇒ Mi havas onklinon, kiu loĝas en Usono.

私には、アメリカに住んでいるおばがいます。

私にはおばがいます。(そのおばは) アメリカに住んでいます。

★ 本課では 関係代名詞 **kiu** が、それに続く②の文中で主語の働きをしているので、主格の関係代名詞と呼びます。

練習問題 次の二つの文を関係代名詞を使って一つにし、意味も書きましょう。

(1) Mi aĉetis ĉokoladon. La ĉokolado kostis multe.

(2) Mi konas iun japanon.

Li povas paroli en Esperanto tre flue.

(3) Ĉu vi vidis la filmon “La Sep Samurajoj”?

La filmo estas tre fama inter japanoj.

(4) Tomoko havas bonan amikininon.

Tiu amikino laboras kiel instruisto de baza lernejo.

vino ワイン onklino おば ĉokolado チョコレート
flue 流暢に samurajo 侍 baza lernejo 小学校

Leciono B39

関係代名詞 **kiu** 2**Ili estas junuloj, kiuj venis el Indonezio.**

彼らはインドネシアから来た若者たちです。

- ★ 表題にある文では関係代名詞が **kiuj** と複数形になっています。これは先行詞が **junuloj** (若者たち) と複数形だからです。上の文は2つに分けると、次のようになります。

- ① **Ili estas junuloj.**
 ② **La junuloj venis el Indonezio.**

① の **junuloj** (複数) を「インドネシアから来た」と、②で説明しますが、それらを関係代名詞でつなぐ際、先行詞に合わせ **kiuj** と複数形を用います。これも主格の関係代名詞です。

⇒ **Ili estas junuloj, kiuj venis el Indonezio.**

Mi havas multajn amikojn. 私にはたくさんの友達がいます。
Ili parolas Esperanton. 彼らはエスペラントを話します。

⇒ **Mi havas multajn amikojn, kiuj parolas Esperanton.**
 私にはエスペラントを話す友達がたくさんいます。

- ★ 先行詞と説明文を離さないように、関係代名詞が導く節 (先行詞を説明する文) が、文の途中で割り込む場合もあります。

Studentoj loĝas en la pensiono.

学生たちがその寄宿舎に住んでいます。

Ili venis el aliaj landoj. 彼らは海外の出身です。

⇒ **Studentoj, kiuj venis el aliaj landoj, loĝas en la pensiono.**
 海外出身の学生たちがその寄宿舎に住んでいます。

練習問題 次の二つの文を関係代名詞を使って、一つの文にし、意味も書きましょう。

- (1) **Ili estas turistoj. Ili venis el Koreio.**

⇒ _____

- (2) **Mi konas kelkajn esperantistojn. Ili loĝas en Hungario.**

⇒ _____

- (3) **Ĉu vi ŝatas la filmojn? La filmoj temas pri muziko.**

⇒ _____

- (4) **Liaj libroj estas tre interesaj. Ili estas nove eldonitaj.**

⇒ _____

.....
Indonezio インドネシア **pensiono** 寄宿舎 **Koreio** 韓国
Hungario ハンガリー **nove** 新しく **eldonita** 出版された
filmo 映画

Leciono B40

関係代名詞 **kiu** 3**Mi havas katon, kiun mi tre amas.**

私にはすごくかわいがっているネコがいます。

★ 次の二つの文を見てください。

① **Mi havas katon.** 私はネコを飼っています。② **Mi tre amas ĝin.** 私はそれをとてもかわいがっています。

① の **kato(n)** と ② の **ĝi(n)** は同じものを指しています。ここでも、関係代名詞 **kiu** を用いて、二つの文をひとつにすることができます。今回は、関係代名詞に導かれる節 (②の文) の中での働きが目的語ですので、対格の関係代名詞 **kiun** を用います。

⇒ **Mi havas katon, kiun mi tre amas.****Tio estas nova sako.** それは新しいバッグです。**Mia patrino aĉetis ĝin antaŭhierau.**

私の母は一昨日それを買いました。

⇒ **Tio estas nova sako, kiun mia patrino aĉetis antaŭhierau.**

それは、私の母が一昨日買った新しいバッグです。

★ 先行詞が複数の場合には、対格の関係代名詞 **kiujn** を用います。**Mi havas tri katojn. Mi tre amas ilin.**⇒ **Mi havas tri katojn, kiujn mi tre amas.**

私にはとてもかわいがっているネコが3匹います。

「私はネコを3匹飼っていて、それらをとてもかわいがっています。」のように、文の頭から訳すこともできます。

練習問題 次の二つの文を関係代名詞を使って、一つの文にし、意味も書きましょう。(2) は関係代名詞の節が途中に入ります。

(1) **Ŝi estas kantisto. Mi tre ŝatas ŝin.**

⇒ _____

(2) **La libro estas tre interesa. Mi finlegis ĝin hodiaŭ.**

⇒ _____

(3) **Tiuj estas ĉarmaj pupoj. Ŝi aĉetis ilin en Francio.**

⇒ _____

(4) **Ili estas studentoj. S-ro Sasaki instruas ilin.**

⇒ _____

antaŭhierau 一昨日 interesa おもしろい

finlegi 読み終える ĉarma かわいらしい pupo 人形

Francio フランス instrui 教える

tiu (指示代名詞) これ、それ、あれ; この人、その人、あの

(指示形容詞) この、その、あの

Leciono B41

関係副詞 **kie** 1練習問題 二つの文章を **kie** でつなぎましょう。

Mia amiko loĝas en bela vilaĝo, kie li kultivas vinberojn.

私の友達は美しい村に住んでいますが、
そこで彼はぶどうを栽培しています。

- ★ 関係副詞 **kie** は、場所をあらわす副詞 **tie** にかわって文をつなぎます。下の例文では **vilaĝo, lernejo, urbo** をあらわす **tie** のかわりに **kie** を使います。

Mia amiko loĝas en bela vilaĝo.

Tie li kultivas vinberojn.

Mia amiko loĝas en bela vilaĝo, kie li kultivas vinberojn.

私の友達は美しい村に住んでいますが、そこで彼は
ぶどうを栽培しています。

Satoru iris al la lernejo.

Tie li revidis multe da sam-klasanoj.

Satoru iris al la lernejo, kie li revidis multe da
sam-klasanoj.

さとりはその学校へ行き、多くの同級生たちと再会した。

Ŝi loĝas en la urbo.

Tie estas malnova kastelo.

Ŝi loĝas en la urbo, kie estas malnova kastelo.

彼女は古いお城のあるその町に住んでいます。

(1) Ili vizitis la vilaĝon.

Tie estis profunda arbaro.

彼らはその村を訪ねましたが、そこには深い森がありました。

(2) Bonvolu atendi ĉe la enirejo de la stacidomo.

Tie ni disiĝis.

私たちが別れた駅の入口でお待ちください。

(3) Noriko naskiĝis en la urbo.

Tie estas fame konata muzeo.

のりこは有名な美術館のあるその町で生まれました。

.....
vilaĝo 村 kultivi 栽培する vinbero ぶどう
kastelo 城 profunda 深い enirejo 入口
disiĝi 別れる fame konata よく知られている、有名な
muzeo 美術館、博物館 Bonvolu ~i 好意で~してくれる、~する
trovi 見つける ludi 遊ぶ amikeco 友情

Ni renkontiĝu ie, kie okazos Universala Kongreso de Esperanto.
世界エスペラント大会が開かれるどこかでお会いしましょう。

★ 関係副詞 **kie** は、**tie** のほかに **ie, ĉie, nenie** や場所をあらわす名詞の後に使い、文をつなぎます。

Ni renkontiĝu ie, kie okazos Universala Kongreso de Esperanto.
世界エスペラント大会が開かれるどこかでお会いしましょう。

Estis multaj turistoj ĉie, kie bela pejzaĝo estis videbla.
美しい景色が見える場所はどこにでも大勢の観光客がいた。

Rozoj floris nenie, kie la knabino serĉis.
少女が探してもとめたどこにもバラは咲いていなかった。

Mi ne volas loĝi en urbego, kie amasiĝas homoj sur stratoj.
私は通りに人があふれている大都市には住みたくありません。

Ili vojaĝis al la malgranda insulo, kie restis interesa ruino.
彼らはその小さな島に旅をしたが、そこには興味ぶかい遺跡が残っていた。

(1) **La junaj gepatroj volas vivi ie, kie iliaj infanoj povas ludi sekure.**
(日本語訳)

(2) **Naskiĝas amikeco ĉie, kie Esperanto estas parolata.**
(日本語訳)

(3) **Ili trovis la trezoron nenie, kie ili serĉis ŝvite.**
(日本語訳)

(4) **Mi havas intereson pri la lando, kie loĝas mia amiko.**
(日本語訳)

.....
turisto 観光客 pejzaĝo 景色 videbla 見ることができる serĉi
探す amasiĝi たくさん集まる ruino 遺跡
sekure 安全に trezoro 宝もの ŝvite 汗をかいて

Leciono B43

従属接続詞 ke の種々の用法

Estas evidente, ke li estas fama sciencisto.

彼が有名な科学者なのは明らかです。

★ 従属接続詞 ke にはいろいろなはたらきがあります。ここでは代表的な使い方を説明します。(B10 課も参照のこと)

(1) 「ke で始まる文」(～ということ) が主語になる。

Estas evidente, ke li estas fama sciencisto.

彼が有名な科学者だということは明らかです。

Estas strange, ke ĉiuj forgesis lian naskiĝtagon.

みんなが彼の誕生日を忘れたとはおかしなことです。

*この場合、「～である」にあたる補語の **evidente** や **strange** が 副詞になることに注意しましょう。この部分が主語の前に来ます。

(2) 「ke で始まる文」が、文中の名詞や **tio** の同格としてその名詞や **tio** の内容を説明する。

Ni ofte aŭdas la kritikon, ke Esperanto ne estas komuna lingvo.

私たちはしばしばエスペラントは共通語ではないという批判を聞くことがあります。

Tio trankviligis min, ke ŝi ne vundiĝis.

彼女にけががなかったことが私を安心させました。

(3) 「ke で始まる文」が無主語文の中身を表す。(無主語文は B35 課にもあります)

Ŝajnas, ke ili geedziĝis. 彼らは結婚したようです。

練習問題

1. **ke li fariĝis ĉefo de la teamo** が主語になる文を2つ作ってみましょう。

Estas _____, ke _____.

Estas _____, ke _____.

2. 次の日本語をエスペラント文に直しましょう。

(1) わたくしが間もなくあなたに会えることはうれしい(副詞)です。

Estas _____, _____.

(2) エスペラントは中立だという意見が彼は気に入りました。

Plaĉis al li la ideo, _____.

(3) s-ro Li が亡くなった事実は、多くの人を悲しませました。

Malĝojigis multajn homojn la fakto, _____.

(4) 彼は仕事で来月*モンゴルに行くようです>(*B24 参照)

Ŝajnas, _____

_____ pro sia laboro.

.....
evidente 明らかな **sciencisto** 科学者 **feliĉe** 幸運な
strange おかしな **kritiko** 批判 **komuna** 共通の
trankviligi 安心させる **vundiĝi** けがする **geedziĝi** 結婚する
evidentiĝi 明らかになる **ĉefo** 長、ボス **teamo** チーム **ĝoja**
 うれしい **baldaŭ** まもなく、やがて **plaĉi** 気に入る
ideo 意見、考え **neŭtrala** 中立な **malĝojigi** 悲しませる **fakto**
 事実 **forpasi** 亡くなる **Mongolio** モンゴル
ŝajni ~ように見受けられる **fariĝi** ~になる **venonta** 来たる

Leciono B44

一人称の命令形 (意志法)

Ni kune kantu! 皆さん 一緒に歌いましょう

★ 一人称の命令形は「～しましょう。」と話し手の申し出や希望・意思を伝える表現です。

(1) 一人称複数 Ni と動詞-u の形は 提案・勧誘を表します。

Ni trinku bieron. ビールを飲もう。
 Ni iru piede. 歩いていきましょう。
 Ni atendu lin iom plu. もう少し彼を待ちましょう。

(2) 一人称単数 Mi と動詞-u の形は 意志を表します。

Mi prizorgu la infanon. 私がその子供の面倒を見ます。
 Mi aĉetu la biletojn. 私がその券を買きましょう。
 Mi akompanu vin. 私がご一緒しましょう。

Mi legos la libron. は
 未来に起こる事柄を表します。
 Mi legu la libron.. は意志を表します。



練習問題

空欄に適切な単語を記入しましょう。

- (1) Ni () la kunsidon.
 皆さん会議をはじめましょう。(komenci ~を始める)
- (2) Al la stacidomo ()() aŭtobuson.
 駅へは バスに乗りましょう。(preni 乗り物に乗る)
- (3) Ĉu mi () al vi morgaŭ?
 明日、お電話しましょうか。(telefoni 電話する)
- (4) ()() vin en la preparo de la kunsido.
 私が会議の準備のお手伝いをしましょう。(helpi 手伝う)
- (5) ()() la parkon por ĝui la florojn
 de sakuro. 桜の花を楽しみに公園へ行き (viziti) しましょう。
- (6) ()() pri la malsanulo.
 私が病人の世話をしましょう。(zorgi pri の世話をする)

kunsido 会議、会合 stacidomo 駅舎 preparo 準備、用意
 parko 公園 ĝui 楽しむ malsanulo 病人 telefoni 電話する
 preni 乗り物に乗る zorgi pri の世話をする

piedo 足 piede あしで、歩いて atendi 待つ plu さらに
 prizorgi 世話をする bileto 券、切符 akompani 随行する

Se ne pluvus hieraŭ, ni ekskursus.

きのう雨でなければ、私たちは遠足だったのですが。

動詞の語尾 **-us** の使い方を説明します。

★ 事実と反対のことがらを述べるときに、使います。

Se ne pluvus hieraŭ, ni ekskursus.

昨日雨が降っていなければ、私たちは遠足に行ったのですが。

(⇒ 実際は、雨だったので遠足に行かなかった)

Se mi estus sana, mi povus grimpi sur altan monton.

もし私が健康なら、高い山に登れるのに。

(⇒ 実際は、健康ではないので登れない。)

★ **Se---** の形の条件文を使わずに条件を表すことができます。

Sen via helpo mi perdus la vojon.

あなたの助けなしでは、私は道に迷っていたでしょう。

(⇒ 実際は、助けがあったので道に迷わなかった。)

.....
 ekskursi 遠足に行く sana 健康な grimpi 登る、登山する
 alta 高い helpo 助力 perdi 失う vojo 道
 vidi 見る、会う fenestro 窓 mondo 世界

練習問題

語尾に留意して、空欄に適切な単語を記入し、事実と異なることがらを述べる文を完成しましょう。

- (1) Se ne () la katastrofo,
 ne () tiom multe da homa vivo.
 もし、あの災害が起こら (okazi) なかったら、そのように多くの人命が失われる (perdiĝi) ことはなかったろう。
- (2) Se mi ne () Esperanton,
 mi ne () multajn amikojn tra la mondo.
 もし、私がエスペラントを学ばなかったら、世界中に大勢の友達を持つことはなかっただろう。
- (3) Se () hodiaŭ, ni ne ()
 () la monton Fuji tra la fenestro de la domo.
 もし、今日、雨が降っているとしたら、家の窓越しに富士山を見ることができないだろう。(実際は、雨が降っていない。)
- (4) Sen via helpo mi ne () .
 あなたの助けなしでは、私は成功しなかっただろう。



multaj と multe da の使い分けについては B04 課を参照してください。

.....
 okazi ことが起きる katastrofo 大災害、破局
 perdiĝi 失われる vivo 命、生活 sukcesi 成功する

Leciono B46

仮定法 2

Mi volus demandi vin pri via intenco.
あなたのご意向をお尋ねしたいのですが。

動詞の語尾 **-us** の使い方の続きです。

★ 遠まわしに言うとき、丁寧に言いたいときにも使います。

Mi volus demandi vin pri via profesio.

あなたのご職業をお尋ねしたいのですが。

語尾**-us** によって、もしよければ、もし差し支えなければ、との条件づきの気持ちが表わされ、丁寧な表現になります。



Ĉu vi bonvolus zorgi pri la maljunulo ?

よろしければ、そのお年寄りの世話をさせていただきますか。

★ また、**devus, povus, volus** には、実際にはそうしなかったことを示唆する使い方があります。

Mi devus rekonsideri la decidon, sed mi ne faris tion.

私はその決定を再検討すべきかだったかもしれないが、そうしなかった。

demandi 尋ねる intenco 意向、意図 profesio 職業
zorgi pri の世話をする konsideri 考慮する
rekonsideri 再検討する decido 決定

練習問題

次の日本語に相当するエスペラント文を書きましょう。

(1) あなたのご計画 (plano) をお尋ねしたいのですが。

(2) よろしければ あなたの決定を再検討していただけますか。

(3) お手伝いをお願いしてよろしいでしょうか。
(ヒント: mi, povi, peti, via helpo を使ってください)

(4) 私は彼に電話すべきだったかもしれないが、そうしなかった。

povi 能力、権限、状況、許可(~してよい) 等により できる
peti 請う、願う telefoni al ~に電話する